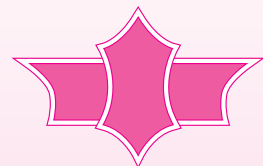


おばま



# 市議会だより

No. 122

編集・発行 小浜市議会広報委員会



華やかな着物で会場に集まった新成人たち（文化会館にて）

## 主 な 内 容

●年頭のご挨拶	P2
●12月定例会の概要	P2
●各委員会の審査状況	P3
●市政を聞く一般質問	P4~P5
●委員会行政視察報告	P6
●県立高等学校再編整備の勉強会を開催	P7

[http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/gikai/frame\\_top.htm](http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/gikai/frame_top.htm)

URLが変わりました。

# 年頭のご挨拶



議長 清水正信

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、輝かしい新年をお健やかに迎えのこころからお慶び申し上げますとともに、本年が健康で明るく希望に満ちた年でありますようお願い申し上げます。

さて、昨年は米大統領選挙を発端とした「オバマブーム」により国内外において本市の話題で大きく盛り上りましたことは、誠に喜ばしいことであり、ご努力いただいた関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。これからは、一過性の「ブーム」に留めず、本市のブランド力向上、産業の振興に結び付けていくため、市としても継続的かつ効果的な取り組みが必要であります。

また、市内に目を移すと、つばき回廊商業棟（旧西友）の閉鎖ならびに解体、小浜ロッジの営業終了などの暗い話題もありましたが、県立大小浜キャンパスの学部化や若狭西街道の全線開通、国道162号田島・矢代間の奈胡崎トンネル開通など、長年の悲願が次々と達成された素晴らしい年でもありました。しかしながら、つばき回廊商業

棟跡地に関する諸問題やそれに関連した市立図書館のあり方、そして企業誘致など、まだまだ多くの課題が残されており、そのような中、本年は第4次小浜市総合計画の最終年でもあり、第5次小浜市総合計画の策定を進める転機となる大切な年でもあります。

議会においても地方分権社会の進展、そして市民ニーズの多様化ならびにスピード化など、より一層高度な対応が求められており、皆様方のお声にお応えするためにも、議会のアップに向け、議会改革に鋭意努力しているところであります。どうぞ本年につきましても市民の皆様方のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



## 新副議長のご紹介

第51代小浜市議会副議長  
**垣本 正直 氏** 59歳  
 小浜市新保（2期目）

## 12月定例会の概要

平成21年第6回定例会は、平成21年11月30日から12月22日までの23日間の会期で開催しました。  
 今定例会では、人事院勧告等に基づく特別職および一般職の給与等関連条例の一部改正のほか、補正予算案等所

議案が提出され、審査の結果、すべて原案可決いたしました。  
 また、教育委員の再任を求める人事案件についても同意し、閉会いたしました。  
 議決の内容は次のとおりです。

### ◎議案の議決状況（詳しい議決結果は議会ホームページに掲載しています）

区分	可決件数	可決議案の主な内容
予算	11件	21年度各会計補正予算
条例	1件	小浜市手数料条例の一部改正について
人事	1件	教育委員の任命について
その他	9件	小浜市道路線の認定、変更について、訴えの提起についてほか

### ◎陳情の議決状況

件名	審査結果
政府への日米間におけるFTA（自由貿易協定）締結に反対する意見書提出に関する陳情	不採択

### ◎可決した会計別補正予算額

会計区分	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	230,876千円	15,060,625千円
特別会計	60,377千円	10,158,452千円
企業会計	24,020千円	944,483千円
合計	315,273千円	26,163,560千円

## 人事案件に同意

各行政委員の任期が満了することに伴い、12月定例会において次のとおり同意いたしましたのでお知らせいたします。

《教育委員》

**川端 正 氏**

（甲ヶ崎：再任）

### 予算常任委員会委員長報告より (概要)

採決の結果は、12議案とも挙手多数により、原案どおり可決すべきとするものであります。

議案第94号の一般会計12月補正予算は、歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ、2億3,087万6,000円を追加し、総額をそれぞれ150億6,062万5,000千円とするもので、その内容は、人事院勧告による給与の改正等による職員給与費の減額のほか、公共ネットワーク整備事業、防災体制整備事業、鳥獣害対策事業（緩衝帯設置）、小学校施設耐震化推進事業など国の1次補正による補助金、交付金や緊急雇用創出事業補助金を活用した事業が主なものであります。

このほか、小学校施設耐震化推進事業については繰越明許費として、鳥獣害対策事業（緩衝帯設置）については債務負担行為の補正として、また、災害復旧事業の実施による追加のほか所要の変更分についての地方債補正がその内容であります。

また、議案第95号から議案第104号まで

は特別会計の補正予算、議案第103号から議案第104号は事業会計の補正予算であり、審査の主眼は、補助金や交付金等の趣旨に合致した事業であるかどうか、また、真に必要な事業か、時機を得た事業であるかどうかなどの観点から実施しました。

審査の中において、Jアラート整備工事費については、財政運営上の考え方に一定の理解は示しながらも、市民の安全安心に直結することから、受信のみでなく市民への情報伝達の整備構築を早急に図りたいとの意見がだされました。

児童デイサービス事業については、利用者負担軽減の継続について要望がありました。

討論は、今回の人事院勧告による職員給与費の減額は、給与月額、期末手当共にかかってない削減となっており、容認できない。職員のみならず地域経済に与える影響も少なくないことから職員給与費を含む全議案に反対する内容でありました。

## 予算常任委員会の 審査状況

### ◎審査結果

議案第94号 平成21年度小浜市一般会計補正予算 (第7号)	原案可決 とすべき
議案第95号 平成21年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算 (第2号) など8議案	原案可決 とすべき
議案第103号 平成21年度小浜市国民宿舎事業会計補正予算 (第2号) など2議案	原案可決 とすべき

**Q.**鳥獣被害防止のための緩衝帯の維持管理等はどうか？

**A.**基本的には地元が設置後の維持経費を持つ維持管理協定を結んでいる。使用する網は30年後でも72%の引っ張り強度を保つというメーカーの結果報告が出ている。

(産業分科会より)

**Q.**小学校施設耐震化事業について、東部4校の統合の件との整合性はどうか？5年以内の統合は無理であろうとの予測での判断か？

**A.**子どもの生命と安全確保の観点から、予測不可能な地震に対し、いち早く耐震工事を施すもの。補助金の返還期限が5年ということも当然だが、ここ5年以内の統合は市の財政力から判断しても難しく建て替えはないとの判断から。

### 意見

充当率100%で市の持ち出しはないが、税金を使うことに変わりはない。統廃合を視野に入れ無駄のないようにされたい。

(民生文教分科会より)

## 12月定例会での 主な質疑

**Q.**児童デイサービス事業（母と子の家）の利用者負担は？

**A.** 利用者の負担はない。ただし、おやつ代として100円はいただいている。

(民生文教分科会より)

**Q.**住宅使用料の滞納に対し、分納指導や納付指導など、法的措置に至るまでに適切な対応をしているのか？

**A.**年金受給者や障害を抱える方など、市の滞納整理要綱の基準を超えるケースもあるが、それぞれの事情も配慮しており、金額の多寡にかかわらず、少しずつでも支払の気持ちがあるか否か、総合的に判断している。その一方で線引きの厳格化もしていかななくてはならないというふう考えている。

(産業分科会より)